

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

<11月>

施設名	さっちゃんルーム
施設所在地	多摩市桜ヶ丘3-32-1

1. 活動のテーマ <野菜って何？>

おいしいもの どんな味 どこにあるの どうやって作るの 食べられるの どこで作るの
どこで買うの どうやって食べるの。。。
など、子どもたちの不思議に答えるテーマとする（絵本、カードなどを活用する）

<子どもたち毎日食べてる野菜について>

‘スーパーで見る規格野菜’ ‘調理済’ ではない本当の姿を見せ興味、関心を持たせる
近隣に3箇所の利用出来る菜園があり
‘市民農園40平方メートル’ ‘園庭2平方メートル’ ‘シェア畑5平方メートル’ 用途に応じて使い分ける

2. 活動スケジュール

年間を通して（トマト、キュウリ、なす、スイカ、かぼちゃ、とうもろこし、ゴーヤ、枝豆、そら豆、さつまいも、ジャガイモ、イチゴ、ブロッコリー、キャベツ、ほうれん草、大根）など15種類以上の野菜を春夏秋冬季節の移り変わりを感じさせながら子ども達と種まき、苗の植栽から栽培、収穫、調理、食育を実践し子ども達の五感（視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚）を育み、子ども一人一人の自然な記憶（思い出）として残す計画です

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

畑を耕し（1ヶ月前）野菜別に肥料、堆肥、石灰などを加えPH調整しうねを立てマルチ、支柱をセットし種、苗を事前に準備する

【必要な道具】

スコップ、くわ、じょうろ、バケツ、ハサミ、紐、マルチ、カマ、レーキー、コテ、PH、手袋、長靴、バンド、ネット、テープ、メジャー、堆肥、肥料、石灰、虫よけなどその他

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

8月に畑の準備を行い、9月に子ども達とタネをまき、11月の収穫まで追肥、水切り、虫よけなどを行いその成長を観察する

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・タネまき、栽培、収穫、調理、食育の一連の流れは子ども達にとって初めての経験でその表情は真剣ですごい集中力でした
- ・収穫した大根は煮物、ステーキ、漬物など給食に活用する
- ・大根の葉は味噌汁、ふりかけに活用する
- ・変形大根に子ども達は興味津々でした



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・大根は抜くのに子ども達の力では無理なので事前に回転させておく必要がある
- ・大根は200本以上収穫したので11月から12月にかけて近隣住民、保護者に配布する
- ・多種多様な形状の大根が見せられてよかった
- ・11月はキャベツ、ブロッコリーの収穫を行った